

まきどき・植えどき・収穫どき

どきどき情報 10月

野菜の作業

旬	種まき	植付け	収穫	栽培管理のポイント
上旬	パイプハウスを 活用しましょ う！	イチゴ～10中	ハクサイ～11中 葉ネギ～12上 サトイモ～11上	サトイモは霜が下りる前に収穫を！
中旬	二十日大根 品種：コメット		シュンギク～11中 ダイコン～11下 ニンジン～11下	イチゴの定植は 10㎡当たり堆肥 20Kg・苦土石灰 2Kg・化成肥料 1.5Kg 散布し、畦幅 120cm×株間 30cmに、 千鳥に植える。
下旬	ハウレンソウ 品種：ホライ・トライ	タマネギ：10月 極下旬までに！ (定植が早すぎると葱坊主が増え 遅いと凍み抜け が多くなる)	野沢菜～11下 チゲンソイ～12上 ナガイモ～12中	タマネギの定植は苦土石灰で酸度を 矯正した後、元肥として化成肥料を、 10㎡当たり 1Kg 散布する。苗は草丈 30cm で本葉 4枚程度のものが良い

二十日大根の品種



パイプハウス利用により周年栽培が可能ですが、日が長くなると根の肥大よりも葉の生長の方が早く品質を落とすので、播種時期により品種を選ぶ必要があります

【元肥】 10㎡当たり
石灰 1.5 kg ・ 化成肥料 2 kg ・ 堆肥 20 kg

まき時期	収穫期	生育日数	適品種 (タキイ種苗)	
春まき	3月中～	5月中～下	65～80日	・コメット (赤丸ラディッシュ)
	4月	6月上～中	50～55日	・ロングスカーレット (赤長二十日大根)
	5月	6月中～7月	40～45日	・同上
夏まき	6～9月	7月～10月	25～40日	・赤丸二十日大根
秋まき	9月中下	10～11月	35～45日	・春まき同様

欧米から渡って来たダイコンの一種で、英語名はラディッシュ (radish) と言います。一般的には写真のような直系2～3cmほどの赤い球根の品種が出回っていますが、長細いものや白色のものなど複数の種類があります。

花の作業 (キク：冬至芽の確保)

菊は開花後の株元や地下茎から発生する数本の芽 (冬至芽) から次年の苗をつくります。

【良い冬至芽の増やし方】

- ①花が咲き終わったら、地上部を50cm程度残して台刈りすると、冬至芽の発生が促進されます。
- ②株元に土寄せをしておくで冬至芽の数が増えます。(一株当たり5～10本の冬至芽が目標)

【冬至芽の伏せ込みと挿し芽】

3月～4月頃パイプハウスや小トンネルに「伏せ込む」摘芯後発生した側枝を5月に「挿し芽」して苗をつくる。

果樹の作業：落葉樹【新植（秋植え）の準備→植付けは落葉してから】

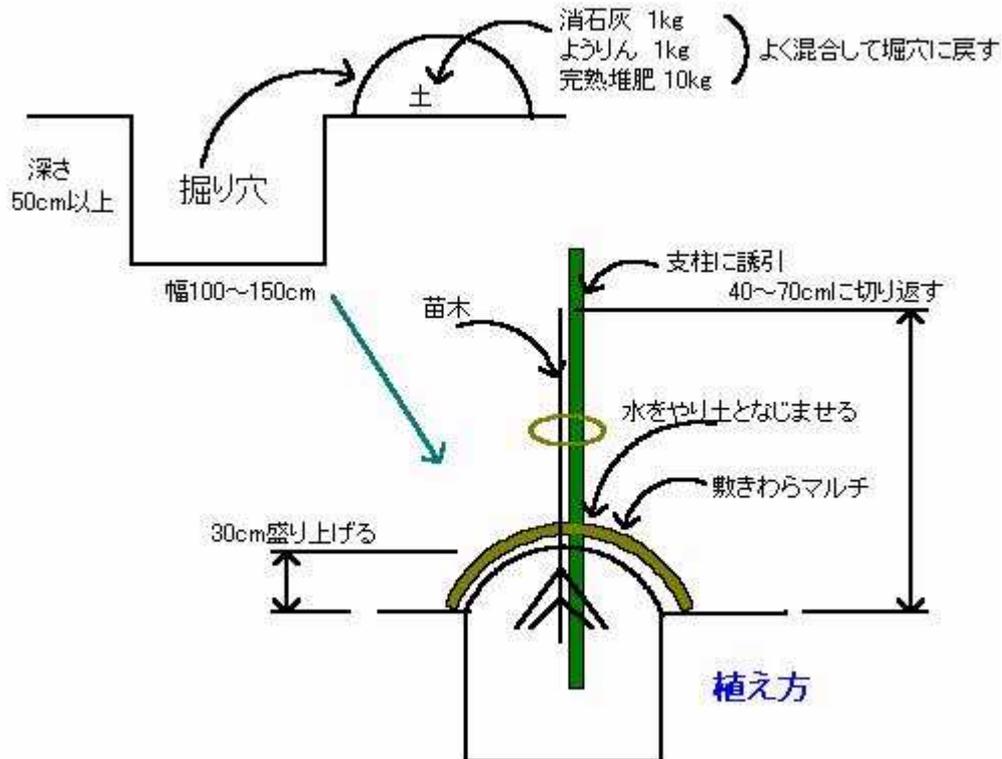
果樹は永年生の作物なので、植え付ける前に必ず土壌改良を行っておきます。園全体に有機質資材を施用し、植え穴にも1樹当たり10～25kg完熟肥料を土とよく混ぜて施します。

植え付けの時期は、晩秋落葉してからのなるべく早く植え付けるのが良いタイミングです。

（日当たりの悪い畑や極端に乾燥するところでは、灌水に充分注意して春植えにします：秋に仮植）

植え穴は根が充分広がる程度の大きさとし、根をできるだけ多く付け、太い根の切り口は平滑になるように切り返しておきます。

植え付け後は風による倒伏を防ぐために支柱を立て、根と土をなじませるために十分灌水します。最初から所定の樹間距離に定植をすると初期収量が上がらないため、密植にしておき、樹冠の拡大に伴い間伐する方法が良いでしょう。



直売センターよりのお知らせ